

阪大万博トークイベントFinal 若者が描く未来社会

テーマ：「万博が私たちに残したものの、それをどう活かすか？」

2026年3月1日（日）13:30 - 16:30 参加無料 ※受付は13:00～開始します。

会場 Nakanoshima Cross 2F Lounge 夢：定員100名

オンライン Zoomウェビナー：定員500名 ※定員になり次第、締切らせて頂きます。

大阪・関西万博が閉幕してから4か月半！ 阪大万博トークイベントも8回を数え、紛れもなく、これが**“最後”**の開催となります。豪華ゲスト2人をお招きします！



©FUTURE OF LIFE

2025年日本国際博覧会テーマ事業プロデューサー

石黒 浩氏



2025年日本国際博覧会テーマ事業ディレクター

澤田裕二氏



会場参加



オンライン参加

【阪大万博トークイベントFinal参加申込】



Nakanoshima Crossまでのアクセス

プログラム

13:30～13:35 主催者ご挨拶 大阪大学理事・副学長 竹村景子氏（万博担当）

13:35～14:05 基調講演「いのちの未来」 2025年日本国際博覧会テーマ事業プロデューサー 石黒 浩氏

14:05～14:55 阪大座談会：

大阪大学統括理事・副学長 田中敏宏氏

同総長補佐・社会ソリューションイニシアティブ長 堂目卓生氏

同工学研究科・教授 松崎典弥氏

同人間科学研究科・教授 杉田映理氏

同万博推進室・室長 栗本 聡氏

14:55～15:05 休憩

15:05～15:10 共催者からのご挨拶 一般財団法人未来医療推進機構 理事長 澤 芳樹氏

15:10～15:30 学生ピッチ（5分）

坂下空蒼氏（a-tune） / 駒田真理菜氏（WAKAZO） / 荒木志織氏（工学部） /

原 聡美氏、伊藤久美氏、松井 響氏（MeWプロジェクト）

15:30～16:30 パネルディスカッション：

若者が描く未来社会「万博が私たちに残したもの、それをどう活かすか？」

2025年日本国際博覧会テーマ事業ディレクター 澤田裕二氏、竹村景子氏、学生4人、

大阪大学万博推進室・副室長 新藤一彦氏、小川真由氏（進行）

プロフィール

●石黒 浩氏 2025年日本国際博覧会・テーマ事業プロデューサー

ロボット学者。

大阪大学大学院基礎工学研究科教授（大阪大学栄誉教授）、ATR石黒浩特別研究所客員所長（ATRフェロー）

ムーンショット型研究開発制度プロジェクトマネージャー、大阪・関西万博テーマ事業プロデューサー

AVITA株式会社代表取締役社長

遠隔操作ロボット研究に従事



©FUTURE OF LIFE

●澤田 裕二氏 2025年日本国際博覧会・テーマ事業ディレクター

1980年明治大学工学部建築学科卒業

1996年株式会社SD代表取締役社長

2019年UG Work合同会社代表

東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会「オリンピックプロムナード」プロデュース

2005年日本国際博覧会（愛知万博）「埼玉県の日」「新潟県の日」プロデュース

これまで多くの博覧会・大型イベント等をデザイン・プロデュース

2020年～2025年大阪・関西万博テーマ事業ディレクター



●小川 真由氏 フリーアナウンサー

大阪大学外国語学部卒業。大学では日本語教育とビルマ語を学ぶ。卒業後、地方民放局とNHK（金沢局・大阪局）で、報道記者・アナウンサー・ニュース制作等を16年つとめる。2024年4月、外資系コンサルティング会社のメディア・PRコミュニケーションを専門にしたコンサルタントに転身。司会や動画ナレーション、文学作品の朗読など、アナウンサーの活動も続けている。愛知県犬山市出身。



※大阪・関西万博での「阪大万博DAY」で大変好評を頂きました

“万博ワニ博士スタンプが1日限定で復活”します！



【NQアフター万博】

Nakanoshima Qrossでは“中之島クロス万博レガシー展示（仮称）”と称して、マクマクのオブジェ、iPS細胞から造られた心筋シートの動画やパネル等を展示しています。これから展示物も増え、企画展示も行う予定です。是非、お越しください。